

今月のことば

病気になるって
見える世界
がある
健康だから
見えない世界
もある

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

こいけ ひであき
小池秀章

樹木希林さん(一九四三―二〇一八)という女優さんが、いらっしやいました。大変個性的な女優さんで、何とも言えない魅力をもった方でした。

また、亡くなられた後の報道等で、多くのエピソードや言葉が紹介されましたが、考えさせられるものが多くありました。

私の心に残った言葉の一つに、次のようなものがあります。

「癌は、そんなに悪い病気じゃないですよ。癌になって見えてきたものもありますから。健康だからこそ、見えない世界もありますし。」

癌で亡くなられた希林さんが、癌を怨んだりせず、癌を受け容れ、癌によって新しい世界に目覚めておられるのです。ただ、そのことより、私の心に突き刺さったのは、後半の「健康だからこそ、見えない世界もありますし。」という言葉だったのです。

仏さまの教えを通して、「病気になることは、必ずしも不幸なことではない。病気になって見えてくる世界もある」と、聞かせていただけてきました。しかし、「健康だからこそ、見えない世界もある」ということは、聞き逃してしまっていたのです。

知らず知らずのうちに、病気の人はかわいそうな人で、健康な人は幸せな人だと、見てしまっていたのです。健康であることに傲慢になった時、大切なものを見失ってしまうのではないのでしょうか。「健康な人生も、病気の人生も、ともに私の大切な人生だ」ということを、忘れないでいたいと思います。

合掌